



1●水上バス(大川)

水の都・大阪の資源をつなぐ水上交通



2●渡船(木津川)

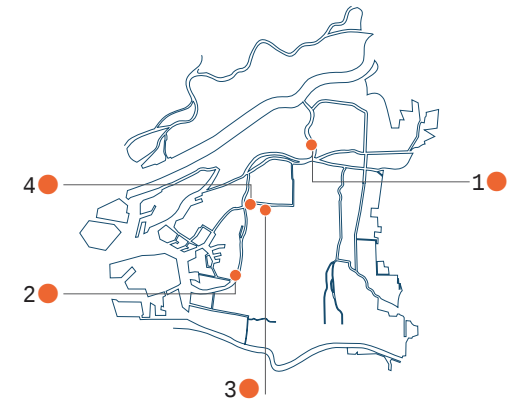


3●クルーズ船(道頓堀川:湊町リバープレイス)

水上交通

都心部を縦横に流れる大阪の川は、近世より交通機関として利用されてきました。江戸時代に天下の台所と呼ばれた大阪の産業発展には、この河川網がなくてはならないものでした。

近代に入り、舟運を中心とした交通は衰退しましたが、現代では水上バスやクルーズ船などの観光船や市民の足である渡船などが市内を巡り、これらの船からは違ったまちの風景を見ることができます。



川の生物と水質

川の生物

■汚濁に強い指標種



●ギンブナ
【出現地点】淀川上流、寝屋川、第二寝屋川、大川、安治川上流、道頓堀川、大和川

■比較的清浄な河川水質の指標種



●シロヒレタビラ
【出現地点】神崎川上流、淀川上流



●クロダイ
【出現地点】淀川下流、木津川河口



●ボラ
【出現地点】神崎川、淀川下流、堂島川、安治川、土佐堀川、道頓堀川、尻無川、木津川、大和川



●コウライモロコ
【出現地点】神崎川上流、淀川上流、大川、道頓堀川



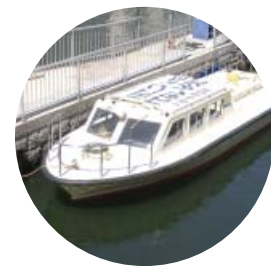
●ハス
【出現地点】神崎川上流、淀川上流、大川、堂島川、土佐堀川、道頓堀川

水をきれいにする川の仕事（水質浄化対策）

市内河川では様々な取り組みにより、水質の向上に努めています。



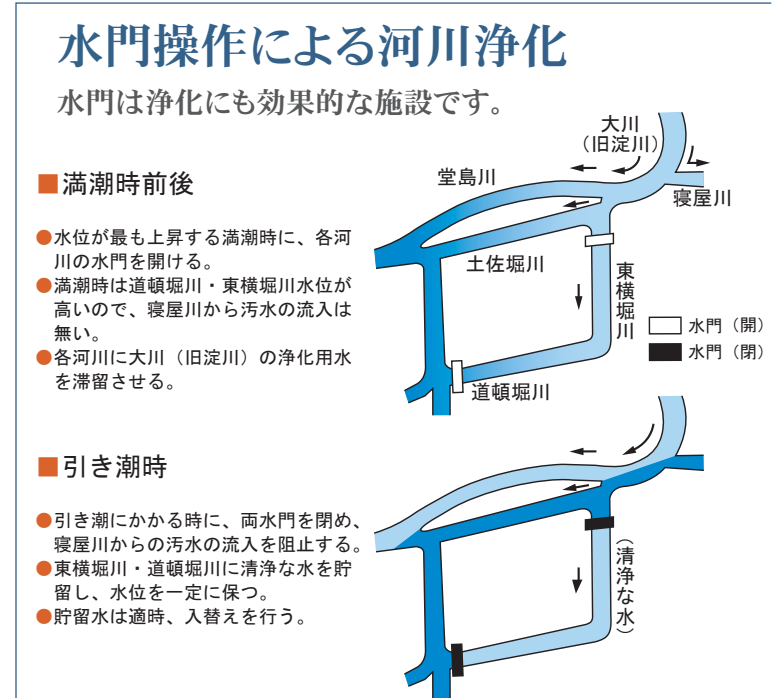
■水面清掃の様子



■河川パトロール「ますみ」



■浚渫（しゅんせつ）の様子



4●道頓堀川水門

川の水がきれいになったことで、色々な魚の姿を見られるようになりました。